

日本天文学会2004年秋季年会のお知らせ

2004年秋季年会は、2004年9月21日（火）から23日（木）までの3日間、岩手大学上田キャンパス（盛岡市上田3丁目18番34号）にて開催されます。プログラムや交通案内等は、天文月報の97巻9月号（2004年8月20日発行）に掲載予定です。

(1) 料金表

料金表	会 員	非会員	
参 加 費	3,000 円 (但し会員で講演ありの場合、参加費は無料)	5,000 円	
講演登録費	3,000 円	5,000 円	(1講演につき)
年会予稿集	2,000 円	2,000 円	

※講演申し込み後キャンセルしても、講演登録費を支払う必要があります。

(2) 受付期間および連絡先

事 項	受付期間・期限	送付先・連絡先等	関連項目	
講演申込	(郵 送)	2004年7月1日（木）必着	天文学会年会係	(3) (4) (5) (6)
	(電子メール)	2004年6月28日（月）正午から 2004年7月5日（月）正午まで(注1)	送り先はWWWでアナウンス	
講演順序の指定	2004年7月8日（木）正午まで	年会実行委員会	(7)	
ポストデッドライン・ペーパー	2004年9月15日（水）まで	年会実行委員会	(8)	
最新情報コーナー	年会会期中まで	年会実行委員会	(9)	
旅費一部補助	講演申込と同時に	予稿原稿の該当欄にチェック	(10)	
保育室の利用申込	2004年8月27日（金）まで	年会実行委員（保育室担当）	(11)	
講演のキャンセル等	分かった時点ですぐに	年会実行委員会	(12)	
各種の会合申込	2004年8月27日（金）まで	年会開催地理事	(13)	
特別セッションの企画 (天文教育フォーラムも含む) 招待講演・特別講演の講演者の推薦	2004年6月15日（火）まで	年会実行委員会	(14)	
ジュニアセッション	2004年9月15日（水）まで	年会実行委員 (ジュニアセッション担当)	(15)	

(注1) 電子メールの自動受付は7月6日（火）午前9時まで行いますが、7月5日（月）正午以降はトラブルへの対応は一切いたしませんので、原則として7月5日（月）正午までに投稿してください。

連絡先

- ◆年会実行委員会 委員長 土居 守（年会理事・東京大学）
e-mail: committee2004@nenkai.asj.or.jp 電話: 0422-34-5084 FAX: 0422-34-5041
- ◆日本天文学会年会係 長谷川直子
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係
e-mail: jimur@nenkai.asj.or.jp 電話: 0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487
- ◆年会開催地理事 花見仁史（開催地理事・岩手大学）
〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18番34号
e-mail: loc2004b@nenkai.asj.or.jp 電話: 019-621-6816 FAX: 019-621-6715

◎年会開催期間（2004年9月21日～23日）の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

(3) 分野と「企画セッション」

- ・講演分野は、以下の14分野です。
H.高密度天体, K.天体力学, L.太陽系, M.太陽, N.恒星, P.星・惑星形成, Q.星間現象, R.銀河, S.活動銀河核, T.銀河団, U.宇宙論, V.地上観測機器, W.飛翔体観測機器, Y.天文教育・その他
- ・「企画セッション」は下記の4つです。
 - A.「天の川創成プロジェクト」
世話人：和田桂一（国立天文台）・牧野淳一郎（東京大学）・吉田直紀（名古屋大学）
 - B.「宇宙の大規模構造の形成と進化」
世話人：谷口義明（東北大学）・有本信雄・児玉忠恭・関口和寛（国立天文台）
梅村雅之（筑波大学）・吉田直紀（名古屋大学）
 - C.「銀河団のクーリングフロー問題」
世話人：戸谷友則（京都大学）・牧島一夫（東京大学）・藤田 裕（国立天文台）
 - D.「彗星物質の起源 — 二大彗星を迎えて —」
世話人：渡部潤一（国立天文台）・河北秀世（ぐんま天文台）・相川祐理（神戸大学）
- ・企画セッションは講演申込前に世話人（コンピーナー）から依頼される基調講演と通常の講演、議論の時間などから構成され、その割り振りは世話人が決めます。講演については、事前に世話人に申し込みをし、世話人からまとめて年会への講演申し込みをしていただきます。tennetなどに流れる世話人からのアナウンスに注意し、申し込みに際しては世話人からの指示に従ってください。世話人の指示と異なる講演形式を選ぶことはできません。

(4) キーワード

- ・分野のあとにプログラム編成のため、キーワードをご記入ください。
- ・特に、以下の分野については「推奨キーワード」の中からも該当するものを選んで、キーワードの先頭に入れてください。
- ・観測機器分野（地上・飛翔体）では関連の深いプロジェクト名・衛星計画名などがあればご記入ください。

◎ 推奨キーワード

- 高密度天体 : ブラックホール, 中性子星, 白色矮星, 降着円盤, ガンマ線バースト, 新星, 超新星, 元素合成
- 太陽 : 太陽内部, 光球, 彩層, 活動領域, プロミネンス, フレア, コロナ, CME, 太陽風
- 恒星 : 主系列星, 巨星, 褐色矮星, 質量放出, ダスト, 星周縁, 惑星状星雲, 元素合成
- 銀河 : 銀河形成, 銀河進化・星形成史, 近傍銀河, 銀河系
- 地上観測機器 : 電波, 赤外線, 可視光, 重力波, 高エネルギー γ 線, 宇宙線
- 飛翔体観測機器 : 電波, 赤外線, 可視光, X線, γ 線, 重力波

(5) 講演の形式

- ・(a)口頭講演（9分間の口頭発表と3分間の質疑応答）, 1人1講演のみ。; (b)ポスター講演・口頭発表付き（ポスターと3分間の口頭発表）; (c)ポスター講演・口頭発表無し（ポスターのみ）の3種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。なお企画セッションの基調講演は(a)として扱われます。
- ・口頭での発表は、オーバーヘッドプロジェクター（OHP）または液晶プロジェクターを使用してください。
- ・液晶プロジェクターは事前の申し込み無しに利用できますが、念のためにOHPでも発表できるようにしておいてください。また事前に必ず接続テストを行ってください。講演時間は直前の講演者が終了した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、事前に切り替え器の使われていない側のケーブルにPCをつないでおいてください。
- ・ポスター1枚あたりのボードの大きさは、プログラムに掲載します。（通常は、縦180cm, 横90cmです。）

(6) 講演の申し込み方法

◆郵送による申し込みの場合

- ・規定の申込用紙に記入し、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、日本天文学会年会係までお送りください。
- ・申し込み用の原稿用紙が不足する場合は、必要枚数を天文学会年会係まで請求してください。

◆電子メールによる申し込みの場合

- ・申し込み開始2週間ほど前までに、WWW (<http://www.asj.or.jp/nenkai/>) に掲載します。
※講演内容については完成度の高いものに限り、また予稿集の紙面をできるだけ有効に利用してください。極端に短い予稿など不適切な講演申し込みは受理しません。
- ※予稿は年会の約2ヶ月前には公開されるため、講演の内容がメディアによって紹介されることもあり得ます。出版前の論文等の講演をする際等、十分ご注意ください。

(7) 講演順序の指定

- ・プロジェクト等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申し込み後にセッション名・受付番号・発表形式 (**a**, **b**, **c**)・著者名・講演タイトルを明記の上、年会実行委員会 (committee2004@nenkai.asj.or.jp) 宛にご連絡下さい。

(8) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

- ・PDL は、単に講演申し込みの締切日に間に合わなかったものではなく、緊急性・トピックス性に富んだものに限定されます。具体的には、約半年後の次の年会での発表まで待つことができない明確な理由（個人的理由は不可）が必要です。通常の申し込みよりもかなり受け付けの基準が厳しくなります。
- ・年会の申し込み期間締切後 9 月 15 日（水）まで受け付けます。上記の理由を添えて予稿原稿を年会実行委員会宛に送付してください。
- ・PDL の講演方法は、**(b)**ポスター講演・口頭発表付き（ポスターと 3 分間の口頭発表）または **(c)**ポスター講演・口頭発表無し（ポスターのみ）となります。ただし、プログラムに余裕がない場合は **(c)**講演になります。

(9) 最新情報コーナー

- ・最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、ポストデッドライン・ペーパーよりは緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等には掲載されません。
- ・発表の形式はポスターのみです。スペースが無くなれば、受け付けを終了します。

(10) 学生等の旅費一部補助

- ・年会出席旅費補助は、講演者であり、天文学会の正会員のうち学生に対する割引会費を適用されていて、かつ正式な給与を受けていない人に限り受けられます。（日本学術振興会の特別研究員は、補助対象外です。）
- ・補助を希望される方で天文学会に入会していない方は、7月5日（月）正午までに入会の手続きを済ませてください。
- ・補助を希望する場合は、予稿原稿の旅費補助の欄にチェックをしてください。
- ・補助金は年会会場受付にてお渡しします。印鑑をご持参ください。年会後にはお渡ししません。

(11) 天文学会会期中の保育室

- ・保育室を設置する予定です。詳細につきましては、天文学会の WWW に掲示します (<http://www.asj.or.jp/nenkai/>)。あるいは、加藤万里子 年会実行委員 (保育室担当) まで、電子メール (mariko@sunrise.hc.keio.ac.jp) か FAX (045-566-1102) でお問い合わせください。

(12) 講演のキャンセルや変更

- ・やむを得ず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、速やかに年会実行委員会まで連絡してください。
- ※講演のキャンセルはお金と時間の無駄になります。キャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立ててください。

(13) 年会時の各種会合

- ・会合などのために会議室や講演会場などを使用されたい場合には、年会開催地理事までご連絡ください。会合が開けるのは、セッション等が行われていない時間帯です。
- ・申し込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、予めご了承ください。

(14) 特別セッション・特別講演・招待講演

- ・多くの会員が関心を持つような話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則的には同時に他のセッション等を行いません。また、会員の多くが興味を持つようなテーマについて、講師を依頼する「招待講演」や「特別講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員長までご相談ください。

(15) ジュニアセッション

- ・秋季年会では、ジュニアセッションとしてポスター発表のみ行います。
- ・発表応募の資格は、小学生 (高学年)、中学生、高校生、高専生 (1~3年) など10歳台の方 (高校卒業後1年以内まで) です。
- ・発表の内容は、天文学や宇宙に関係することならば、何でも結構です。
- ・発表の申し込みは9月15日 (水) まで受け付けます。ただし、発表の可能性がある場合には、できる限り7月5日 (月) までにお知らせください。これは、あらかじめポスターボードを確保しておくためです。7月5日までにご連絡をいただかなくても発表の申し込みはできますが、ポスターを貼るスペースが無くなりますと発表が受け付けられないことがありますので、なるべく早めにお申し込みください。
- ・口頭発表も含めたジュニアセッションは、2005年春季年会にて開催する予定です。秋季年会でのポスター発表の内容は、春季年会のジュニアセッション予稿集に掲載する予定です。
- ・発表の申し込みやお問い合わせは、吉川真 年会実行委員 (ジュニアセッション担当) まで、電子メール (makoto@pub.isas.jaxa.jp) または電話・FAX (042-759-8341) をお願いします。

土居 守 (年会実行委員長)